

【学校運営協議会資料】

令和3年度 堺東高等学校

第1回 学校運営協議会

ご提言・ご意見のまとめ

令和3年度 堺東高等学校第1回学校運営協議会が、7月14日に開催されました。第1回の協議事項は、「今年度の学校経営計画と取組みについて」、「各分掌、学年、委員会より現状報告と今年度の取組みについて」です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 田中 誠二 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 遠藤 真砂美 (晴美台1丁北自治会)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 藤井 沙耶 (本校PTA会長)
- 6 高谷 翔平 ((株)ベネッセコーポレーション)



協議委員の方々

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 今年度の学校運営協議委員の自己紹介
- 3 学校運営協議委員会の概要について
- 4 学校経営計画と取組みについての報告 (校長)
- 5 各分掌、学年、委員会より取組みの中間報告 (各部代表)

第1回テーマ

「学校経営計画における取組みについて」

「各分掌、学年、委員会より取組みについて」

■校長より

本日の協議に入る前に、校長より挨拶に続いて堺東高校の近況報告がありました。

- 4月より新しい年度になりましたが、緊急事態宣言が発出され、体育祭や遠足といった行事がすべて延期となりました。6月中旬に解除されましたので、6月21・22日に感染対策・暑さ対策を講じて体育祭を、7月6日に1年は学校で学年行事、2・3年が遠足を行いました。延期することでスケジュールや内容を変更しましたが、昨年度はできなかった行事ができて生徒も楽しんでいました。
- 本日は、魅力ある堺東高校となるよういろいろなご意見を伺いたいと思います。



■今年度の学校経営計画における中間報告について質疑応答

□説明 ・ ■意見・質問

◇「今年度の学校経営計画における中間報告について、校長より説明

【 1、確かな学力の育成 】

- スマートスクール推進事業の一環で、校内に無線 LAN が導入され、生徒ひとり一台のパソコンの貸与が予定されています。昨年度から ICT 活用プロジェクトを立ち上げ、教職員に情報発信し、活用と啓発に努めています。
- 令和3年度は、本校創立50周年にあたり周年事業でプロジェクトを整備できるよう準備しています。機材だけでなくわかりやすい授業づくりを進めていきたいと思っています。
- 公開授業や生徒による授業アンケートなどを活用して教員の授業力の向上を目指しています。
- 年に2回ある学力実態調査とその分析による学校個別ドリルを活用して確かな学力の育成を図ります。
- 昨年度より総合的な探究の時間を見直し、SDGsや障がいがある人たちのことなどを取り上げ、生徒同士の意見交換や発表の機会を設け、他者に自分の意見を伝えることができるように指導しています。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

- 本校は、自立支援生も在籍しており、「ともに学び、ともに育つ」を目標に指導しています。また、堺支援学校との交流も20年以上続けており、本日の3限にオンラインによる交流が行われました。生徒が学校紹介を行ったり、質問したりして交流しました。
- 本校は、支援教育サポート校として、公立だけでなく私立の学校の相談に応じたり、講演会や連絡会を行っています。
- 自転車の乗車マナーの徹底や教員による正門・通用門での指導を行っていますが、歩道の整備が急務となっています。引き続き堺市とも協議しており、今年は設計までもっていきたいと考えています。
-

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

- 高大連携やオープンキャンパスなど学外での活動を支援して、夢にチャレンジする生徒のサポートをしています。
- 4月から6月の緊急事態宣言の影響で1年生の部活参加が例年より低くなっていますが、学校行事や部活動などを通じて生徒の成長をサポートしたいと考えています。

【 4、開かれた学校づくりの推進と情報の発信 】

- 在校生や保護者の皆さんには、ホームページだけでなく、さくら連絡網を活用して情報を発信しています。また、将来入学したいと考えている中学生に向けては、オープンスクールやミニ見学会に参加していただいて、本校の魅力を伝えるようにしています。

■各分掌・委員長からの説明と質疑応答

□説明・■意見・質問

【 3学年より 】

- 「夢に向かって・自立(自律)する・人にやさしく」を学年スローガンのもと学年をスタートしました。今年是最終学年ですので、それぞれの生徒が希望の進路を実現できるようにサポートしていきたい。
- 延期にはなりましたが、体育祭や遠足も実施することができ、夏休み明けにある文化祭も1・2年生を引っ張っていけると期待しています。
- 毎年のことですが、受験や勉強のプレッシャーから登校できなかつたり、体調を崩す生徒が出てきました。生徒支援を含めたサポート体制を充実させる必要があると考えています。



【 2学年より 】

- 学校が休校になってマスクが当たり前の学年で、昨年度は感染予防の観点から生徒同士での話し合いができなかつたり、行事が実施できなかつたりして集団としての指導が難しいと感じています。今年遠足に行くことができたので10月に予定している修学旅行につなげていけると考えています。
- 昨年度より始まった探究プログラムでは、SDGsを考えるとということで、それぞれが興味があるテーマを選び、集まって話し合い、問題やできることなどをまとめる作業を行う中で、何らかの提言ができればと考えています。

【 1学年より 】

- 入学時は不安がありましたが、スムーズにクラス・学年運営が来出たと感じています。
- 4月からの緊急事態宣言の影響が部活動への加入率が65%と例年に比べて低いので危惧しています。充実した3年間になるようにサポートしていきたい。
- 「出る杭」をスローガンに失敗を恐れずチャレンジしていく姿勢を身につけてほしいと考えています。6月の中間考査の成績が出てショックを受けた生徒もいますが、学習方法を見直してほしいと思います。

【 総務部より 】

- 今年の PTA 総会も感染症対策のため書面開催といたしました。後援会の理事会は、先日学校で開催することができました。
- 11 月にオープンスクールを予定しています。感染症対策で昨年にならい 2 部制で実施する予定です。在校生が生き生きと活動する様子を中学生に見てもらえたらと考えています。

【 教務部より 】

- 昨年度は 70 分授業でしたが、今年は 65 分に戻して授業を行っています。4 月からの緊急事態宣言を受けて、行事や授業の計画を修正しながら休校措置になることもなくなんとかやってきました。
- 定期考査の実施、成績処理についてはミスが起きないように注意喚起し、何かあっても適切に処理できるようにしています。
- 来年度から始まる観点別評価について、校内研修を行い、他校の様子を聞きながら少しずつ試していこうと考えています。

【 進路指導部より 】

- 最近のデータを分析すると大学への進学率が少しずつ上がってきています。背景には、浪人する生徒が減ってきていることが挙げられます。
- 今年から「基礎学力向上プラン」の一環として、今まで行ってきたスタディサポートの活用をより強化し、「学校オリジナルドリル」を導入しました。高校での基礎学力を身につけることができるよう指導していきます。

【 生徒指導部より 】

- 家庭の状況が大きく変わってきていると感じます。現在のコロナ禍の中では健康が第一なので生徒指導が十分できない状態です。
- 生徒向けの講演会としては 1 年生向けに「交通安全講話」、2 年生向けに「薬物乱用講話」を行っています。
- 生徒を指導していて SNS がいろんなところでかかわっていることを痛感しています。

【 生徒会部より 】

- 新入生に対する部活動の勧誘は、例年と同じようにクラブ紹介をするだけでなく、クラブ紹介の看板を新入生の教室の近くに設置したり、昼休みにクラブ紹介の放送をするなどしましたが、見学や入部する時期に緊急事態宣言となり十分活動できなかつたので例年と比べて 10% 程度加入率が低下しました。
- 体育祭は、体育祭実行委員が中心となり熱中症予防を考えて 6 月に午前中 2 日間で開催しました。現在は文化祭の企画を練っているところです。

【 保健部より 】

- 今年はいろいろな制限もありつつ、法定の検診は 6 月までに終了することができました。食事中が感染の危険性が上がるということで、毎日保健委員が注意喚起の放送を行っています。
- 性教育後援会は、体育館で 11 月に行う予定になっています。

【 人権教育委員会より 】

- 今年は、全学年対象の人権講演会を6月24日に開催することができました。南アフリカにルーツを持つ染谷西郷さんが音楽を交えて講演してくださいました。外国にルーツのある生徒も増えてきています。時代に合わせて実施していきたいと考えています。
- そのほかには、1年生はSNSについて、2年は法律講座、3年は就職と人権、HIV・エイズ防止教室を予定しています。

【 生徒支援委員会より 】

- 昨年度は月に29件相談件数がありました。悩みをとっている生徒が増えてきているのが現状です。特にコロナの影響か、登校できない生徒が増えているように感じます。

【 自立支援より 】

- 2,3年生が実習に行ったり、予定したりしています。特に3年生は就職に向けた職場前実習にもなっています。実習に参加することで得る学びの大きさを実感しています。

【 志学より 】

- 本日3限にオンラインによる堺支援学校との交流会を行いました。お互いの学校紹介やクイズ、質問などを行いました。1年生が中心でうまくできるか心配でしたが、いろいろ工夫して40分間楽しく交流しました。12月もオンラインになる予定です。

【 情報処理委員会より 】

- スマートスクール推進事業で生徒が一人一台パソコンを持つということで教員も同様のパソコンを用意して配布し始めています。

- 学年ごとにスローガンがあるようですが生徒がかかわって決めているのですか。学年が進むと変わっていったりするのですか。
- 3学年とも教員で相談して決めました。入学時に卒業を見越して決めているので変更はしていませんが、少しずつアジャストしています。
- 昨年今年と今までの生徒とは違いますか。大学生は対面に飢えているようなところがあります。
- うまくストレスを発散できていないのか、違うように感じます。
- 生徒指導のところで家庭環境が変わってきているというお話がありました。学校だけでなく家庭でも生徒のサポートができないか、PTAも現状を把握して親同士で考えてかかわっていけないかと考えています。
- SNSによる問題については、人権や教育相談も入って話をしましたが、しっかり反省できていて大丈夫だと思います。
- 具体的な問題行動ではないのですが、例年になく保護者の改名が多い、生徒の様子が突然変わるなどから家庭環境が変わってきているのではないかと推察しています。
- 晴美台中学校も50周年を迎えます。堺東高校ではどのようなことを予定されていますか。

- 11月27日に50周年式典を予定していますが、当初ビックアイを予約していましたが、現状を考えてキャンセルし、本校体育館で行う予定です。第1部として実行委員長や校長のあいさつなどの式典、第2部で卒業生の講演や演奏と部活動の発表などを考えています。
- 歩道整備の話がありましたがどのように進めてこられたのですか。敷地を提供してということですがどれくらい前に始められましたか。
- 前任の好調から進めてきておりようやく昨年測量が行われ、今年設計できればと考えています。地域の連合会長さんと一緒に堺市に陳情に行き、教育委員会とも相談の上進めています。
- 歩道整備は地域としても気になっています。事故が起こってからでは遅いのでバックアップは惜しみません。具体的な日程が決まればホームページに掲載してもらいたい。
- SDGsの話があったと思います。生徒がテーマを選ぶところから考えているのか、学校としてどうして行くのか教えてほしい。
- まず、本読んだり調べたりしながら生徒一人一人がテーマを選びます。同じテーマを選んだ生徒が集まって関心のあることなど話し合っけてレポートにまとめます。それを校内で発表できれば校外のコンペなどでも発表していきたいと考えています。発表することで生徒の能力を伸ばすことが目的です。
- 先ほど大学の進学率の話がありましたが、他校と同様ではありません。安全志向になったのは、共通テストへの変更や外部試験の導入などが大きくかかわっています。また、昨年度からの休校などにより家庭でしっかり学習できるかどうかで学力が2極化しています。堺東高校はしっかり指導されていると思います。感染症予防ということでオープンキャンパスなど集まって何かすることが難しい状況です。学校でできるだけサポートしてあげてほしいと思います。
- 現在懇談期間となっています。本人・保護者と担任で志望校の確認や相談をしており、資料や導入されたパソコンを使って検索しています。
- 部活動が活発なことは堺東高校の魅力だと考えています。もう少し勧誘など予定されていますか。
- 1年生の生活リズムが落ち着いてきています。どうしたらよいのか検討が必要だと感じています。
- オープンスクールや7月31日から始めるミニ見学会などで活動の様子など見ていただけたらと考えています。

今年の日程

【第2回】 令和3年 10月29日(金) 午後2時~4時 授業見学を予定

【第3回】 令和3年 1月28日(金) 午後3時~5時

を予定しています。よろしくお願いいたします。